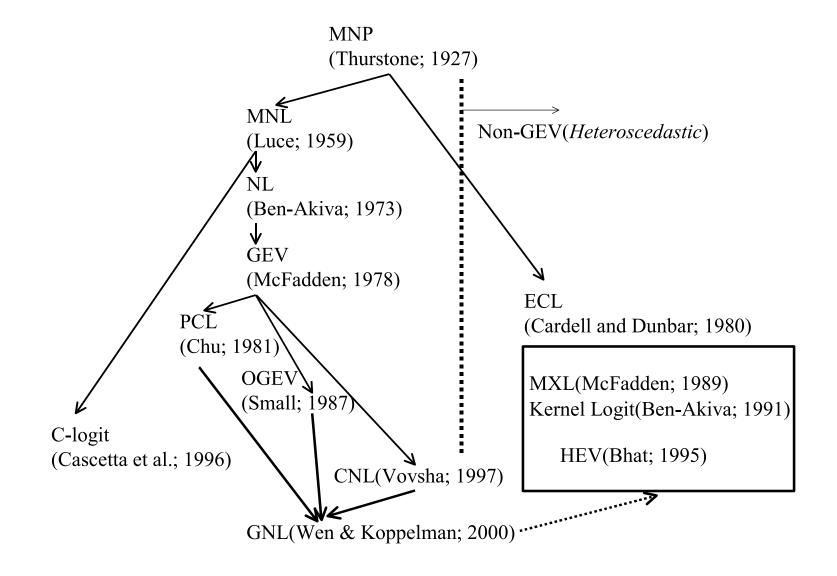
行動モデル夏の学校 2007

(たぶん校長) 東京大学 羽藤英二 hato@bin.t.u-tokyo.ac.jp

行動モデル夏の学校とは?

- 2002年8月に羽藤-佐々木-山本あたりの呼びかけによりスタートしたサマースクール。
- 行動モデルの研究を志す学生を対象.
- 名古屋→山梨→愛媛→芝浦→名古屋→東京で開催。

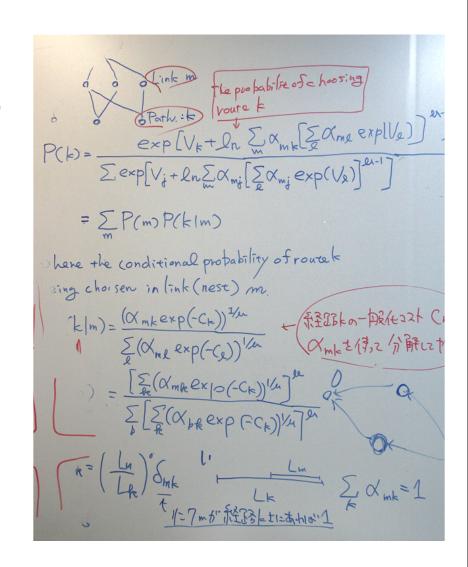
行動モデル研究の発展の系譜



行動モデルとは?(1)

- 手計算で導ける
- 美しいClosed Formの 選択確率式

$$P_1 = \frac{e^{\theta V_1}}{e^{\theta V_1} + e^{\theta V_2}}$$



行動モデルとは?(2)

- 経済学の多くの理論と整合性がとれており、
- ・交通分野において学際的にも高く評価されている世界の主流な研究トピックスのひとつ。
- MacFaddenが2000年にノーベル経済学賞を 受賞。

$$P_n = \frac{x_n \frac{\partial G}{\partial y_i}(x_1, \dots, x_J)}{G(x_1, \dots, x_J)}$$

行動モデルとは?(3)

- 行動を予測し、理解することができる.
- パターン認識などの分野でも援用されてい

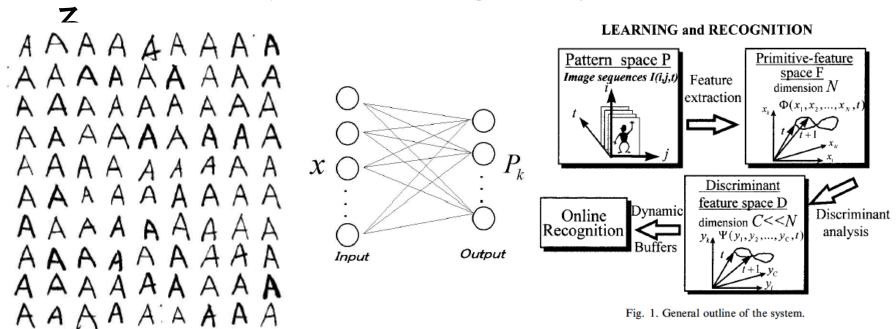


Fig. 1. General outline of the system.

Raytchev, B. et al. (2000) User-independent online gesture recognition by relative motion Extraction, Pattern Recognition Letters 21 pp.69-82.

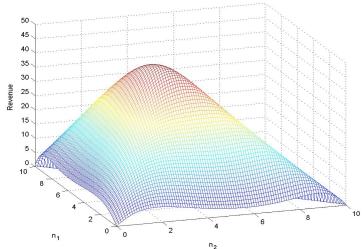
行動モデルとは?(4)

• パラメータ推定を行い、シミュレーションや均衡配分に組み込むことで、様々な政策評価とYield Managementに適用可能.

$$\max \sum_{\substack{c=1\\n_1,n_2}}^{c} \Gamma_c T_c \left(\frac{r_1 n_1}{1 + e^{\theta \varsigma_1 T_c (r_1 n_1 - r_2 n_2)}} + \frac{r_2 n_2}{1 + e^{\theta \varsigma_1 T_c (r_2 n_2 - r_1 n_1)}} \right)$$

$$P_k^c(n) = \frac{e^{-\theta V_k^c}}{\sum_{j=1}^K e^{-\theta V_j^c}}$$

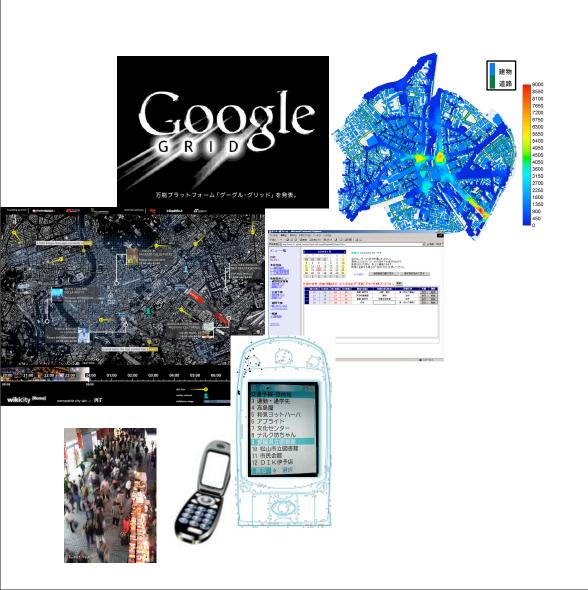
$$V_k^c(n_k) = \varsigma_1 T_c r_k n_k + \varsigma_2 T_c$$



行動モデルにおける有望そうな (独断あふれる)研究トピックス

- ネットワークモデルにおける重複問題と選択 肢集合の(implicitな)表現・計算方法
- 囚人のジレンマのようなグループ行動のモデル化(不動点問題への対処)
- 精度のいいアクティビティモデル
- 認知心理学的なパラドクスを表現できる理論 的な行動モデル
- 欠損を含むPPデータやセンサーネットワーク データによる行動記録の逆推定,などなど.

プローブパーソン技術(ちょっと宣伝)





プローブパーソン技術(ちょっと宣伝)





行動モデル夏の学校のプログラム

```
1日目(9月20日)
10:00-10:30 受付
10:30-11:00 ガイダンス 羽藤英二(東京大学)
11:00-12:00 基調講演 兵藤哲朗(東京海洋大学)
12:00-13:00 昼食(研究室紹介)
13:00-13:50 講義1 倉内慎也(愛媛大学)
             効用最大化理論と確率的意思決定モデル
14:00-14:50 講義2 佐々木邦明(山梨大学)
             パラメータ推定のテクニック
14:50-15:00 休憩
15:00-18:00 コンピュータ演習 牛尾龍太郎(愛媛大学M1)
             GAUSS/Rのサンプルプログラムの説明
             各人データ分析モデルの選択とパラメータ推定
18:00-19:00中間発表
```

19:00-立食(交流会)

行動モデル夏の学校のプログラム

```
2日目(9月21日)
08:30-10:00 演習2
       グループごとにデータ分析
       パラメータ推定(プログラムの提出)
10:00-12:00 演習3 発表準備 (講師陣によるチェック)
12:00-13:00 昼食
13:00-14:30 博士コースセッション
       講演1佐藤仁美(名古屋大学D2)
           交通エコポイント制度のサービスレベルと評価意識構
           造に関する分析
       講演2柳沼秀樹(東京工業大学D1)
           ゲーム論的交通均衡モデルとパラメータ推定手法
       講演3薄井智貴(名古屋大学D3)
           ITSにおけるプローブカーデータを活用した統合型交通情報提供
           システムの開発
14:30-15:20 講義3 山本俊行(名古屋大)
       異質性と動学化へのアプローチ
```

15:30-17:00 プレゼンテーション&質疑

17:00-18:00 講評・表彰・交流会

(勝手に)行動モデル夏の学校の理念

• 流行り廃りではない基礎理論の修得

わが国の社会的特徴を背景とした先端的な研究の推進

・ 他大学の研究グループとの情報交換

• 学生同士仲良くなる.

2日間頑張りましょう!